

中央環境審議会総合政策部会環境研究・技術開発推進戦略専門委員会「環境研究・環境技術開発の推進戦略について（案）」に対するパブリックコメントの実施結果について

1. 実施方法

- (1) 意見募集期間：平成27年6月30日（火）から平成27年7月13日（月）まで
- (2) 告知方法：環境省ホームページ、電子政府ホームページ及び記者発表
- (3) 意見提出方法：郵送、FAXまたは電子メール

2. 意見提出数

2通 1件

[内訳]

| | |
|--------|----|
| 業界団体 | 0通 |
| 企業 | 0通 |
| 個人、その他 | 2通 |

3. 寄せられた御意見及び御意見に対する考え方

| No. | 報告(案)の 該当箇所 | 御意見の概要 | 御意見に対する考え方 |
|-----|----------------------|--|--|
| 1 | III 2. (5) (P.21) | 環境化学物質の人健康、特に中枢機能への影響や、世代を超えた影響の解明は非常に重要である。しかしながら、ヒトを対象としておこなう研究は難しくもあるため、疫学的研究はもちろんのこと、動物実験を用いた研究は人体への影響を解明する上で不可欠な研究領域であり、重点的な支援が必要だと考える。 | 御指摘いただきました動物実験を用いた研究につきましては、【重点課題】の「メカニズム解明、影響予測等の手法確立に資する研究の重点的推進」、及び同課題の[研究・技術開発例]に挙げました「・環境中の化学物質等の生体高次機能や継世代への影響の解明」に含まれます。なお、動物実験を用いた研究を行う際には、関係法令を遵守するとともに、動物実験等の適正化を進めるための国際機関や国際団体の取組を踏まえ、動物実験を適正に実施することが求められます。 |